資料２－１

開催概要

会議名	**令和８年度　第２回産業振興審議会**
日　時	令和８年８月２４日（月）午前１０時～午後０時１０分
場　所	杉並区産業振興センター　会議室
出席者	＜委員＞　※敬称略 植田、額田、小竹、鈴木、内藤、細淵、相田、浅岡、柴田、中村、横山、朝枝、浅賀 田中、窪 ＜区＞ 区民生活部長、産業振興センター所長、産業振興センター次長、事業担当課長、 温暖化対策担当課長、管理係長、商業係長、観光係長、就労・経営支援係長、管理係主査、観光係主査、就労・経営支援係主査、都市農業係主査、管理係主事
次　第	1　開会 2　議題 (1)杉並区産業振興計画の改定について ①産業振興審議会への諮問 ②杉並区産業振興計画改定検討部会の設置等 ③計画改定に関する意見交換 (2)事業者を取り巻く環境変化と脱炭素化に向けた取組について 3　その他 4　閉会

資料２－１

杉並区産業振興計画の改定について

主な意見と今後の検討事項

■産業振興計画に必要な視点

・産業振興と一見関係ないと思えるような要素を「掛け合わせる」という視点が重要ではないか。
　生活の中の課題と産業を掛け合わせ、産業振興部署以外の部署と一緒に課題解決に取り組めば、予算もより活用できるのではないか。

・高齢化が進行しており、介護事業者の減少や不足が課題となっている。現行の資金援助などの対処的なことだけでなく、産業振興という面から介護分野を育てる仕組みを作ったり、介護の仕事をしたい人を増やすような取組をするなど、充実させてほしい。

・近年は大雨など災害が深刻化しており、計画には「防災」という視点が必要ではないか。

・近年の災害は「命を守る」という段階にきている。「命を守る」という視点から、商店街振興などの産業振興と地域振興を組み合わせて考えていくとよいのでは。

・これまでのような、普通の企業活動の話だけではなく、福祉や防災など生活に関わる部分や消費に関わる部分などを含めた形で、どのように地域の中で経済循環をつくっていくのかを考えていく必要がある。

・地域活動を行う団体の多くは、その活動が産業になり得るという認識を持っていないと思う。地域活動も地域経済をまわす活動であり、そのことを改めて確認し、草の根的な活動をしている団体も交えて産業というものをつくっていけたらいいと思う。

【今後の対応】
検討の上、可能なものは、答申や新しい計画に取り入れていく

資料２－１

杉並区産業振興計画の改定について

主な意見と今後の検討事項

■デジタル化の推進

・デジタル化の課題は多様化し、レベル感も上下に広がりを見せている。
・何をどのようにデジタル化をしたらよいのか、どの業者に発注したらいいかが分からないという事業者も多い。
・情報通信業の事業者を区があっせんすることは難しいかもしれないが、区内業者をまとめて紹介するなどをすれば、区内消費や活性化も促進できるのではないか。
・スクリーニングは必要だが、信頼できる事業者を紹介する事業があってもいいのではないか。
・経費の一部を助成するだけではなく、導入するまでの流れを支援する必要がある。

【今後の検討事項】
助成金以外のデジタル化支援の手法

■都市農業

・区が主導となって収穫体験を実施して農地のＰＲをし、農業の大切さや防災機能を伝えてもらいたい。また、学校給食を広げ、その食材を商店街やスーパーで扱ってもらうことで、杉並産農産物を各家庭に知ってもらい、購入してもらうことで農業を活性化させたい。
・ＣＳＡ（Community Supported Agriculture）※という取組がある。
（※生産者と消費者が直接契約を結び、代金を前払いして定期的に野菜などの農産物を受け取る仕組み）
コミュニティが農業を支え、循環をつくる仕組み。ストーリーがついたものには購入意欲がわく。情報発信をうまく行い、商店街なども連携して取り組めるとなお良い。
「価値をのせる」ということがとても大切。
・食料問題は大切な問題で、ビジネスとしても農業はこれから育てていくべき事業。
杉並区は都心でありながら農地がある。人材を育成する機会を広げていけるとよい。
・農業者は年々減少している。後継者がいない農地は、区が買い取り、農地として貸し出してほしい。賃料は多少高くても借り手はいると思うので、農地保全を進めてほしい。

【今後の検討事項】
・農にふれあう機会の充実
・都市農地保全方針の策定

杉並区産業振興計画の改定について

主な意見と今後の検討事項

資料２－１

■商店街

・「命を守る」ための取組については、商店街を活用した取組も考えられるのではないか。例えば、熱中症対策として、商店街に水が飲める場所やミストを設置した場合に補助金を出すなど。「命を守る」という視点から商店街振興を組み合わせて「杉並区は、商店街と一緒に命を守る活動をしています」と言えるとよいのでは。

・福祉や防災、産業振興など、商店街への期待値が高いことに恐縮している。商店街の現状は、厳しい状況にあり、駅周辺以外の商店街は解散する事例もある。
区が考えている「地域課題の解決に資する取組の支援」に期待している。アウトリーチ型支援を強力に行っていただき、皆さんの力を集約できれば、期待に応えることもできるのではないかと思う。

【今後の検討事項】
「地域課題の解決に資する取組の支援」について引き続き検討

■環境負荷軽減

・温暖化対策は、事業者にとってはコスト負担の意識が強い。事業者にとってのメリットを具体的に数値として示すとよいのではないか。

・事業者向け補助事業については、周知が足りていない。

・区民も事業者も自分ごととして考えることができるよう、温室効果ガスの算出方法やどうしたら削減効果が得られるのかなど、わかりやすく情報提供するとよい。
そうすることで、様々な分野で、イノベーションが生まれていくかもしれない。

【今後の検討事項】
事業者への周知

■その他

・区では様々な取組が行われているが、強い情報発信力があるもので発信しないと届かない。スマホに通知がくる方が情報が届くので、統一的なアプリがあるといい。

・外出が難しい高齢者等にも、産業や農業に関する情報が届く仕組みがあるとよい。

【今後の検討事項】
効果的な情報発信について、各事業で検討